



にじいろ通信 No.34

発行:社会福祉法人健翔会 にじいろ
 所在:埼玉県行田市忍 1-11-1
 TEL:048-598-5252 FAX:048-501-6031
 責任者:にじいろ管理者 齋藤真知子
 MAIL:nijiiro@kenshokai.net

「にじいろ」は児童福祉法により、通学している障害児に対し放課後等に日中活動を提供する健翔会の第3号事業所です。

2019年もたくさんの笑顔で過ごしました。ありがとうございました。

にじいろのご利用について 定員10名 早めに声を掛けてください!

「学習障害は生涯学習」

児童発達支援管理責任者 齋藤真知子

12月5日に行田市人権教育合同学習講演会に行ってきました。学習障害を公表している落語家の柳家花緑さんが講師で、演題は「学習障害は生涯学習!そこから学んだこと」です。嘶家の花緑さんは学習障害の自分の事を面白くお話をしていましたが、小さいころから自分はなぜ文字を読むことが苦手なのか?と悩んでいたそうです。自分が学習障害とわかった時は「障害」という言葉自体が強烈で受け入れ難かったそうですが、同時に生きづらい自分を救ったのも「学習障害」という診断だったそうです。自分の努力不足や怠けではない、僕が悪いんじゃない、ちゃんと理由があったのだとわかったからです。花緑さんが言うには「自分はダメなんだ」「勉強なんか嫌いだ、できない」などと自己否定が続くと自信がなくなり、



12/25 にじいろクリスマス会はゲームや出し物で大盛り上がりでした。サンタさんありがとう。



12/11 中里公園に行きました。広い公園を鬼ごっこしたり、長い滑り台で競争したり、とにかく汗をかくほど遊びました。やっぱり、外遊びはサイコーです!!



12/18 羽生の水郷公園に出かけました。暖かい日になり、珍しい遊具でたくさん体を動かしました。子どもたちの楽しそうな歓声が聞こえていました。

生きるエネルギーがなくなるそうです。早いうちに障害を認めて、環境を整える事が大切とのこと。また、好きな事には過剰に集中が出来るので、好きな事を見つけて続けることが幸せにつながるのではないとのこと。

花緑さんは幸いな事に話をする事が得意でした。しかし文字を読むことが苦手なので、つい最近まで落語は耳で聞いて音で覚えていました。現在は携帯電話を使用して調べてから読んでいますが、頭で変換するのにとても時間がかかるそうです。それでも好きな落語を続けるために工夫を続けています。

にじいろでも苦手な事に注目するのではなく、得意な事、好きな事、出来る事に注目して支援していくことが自信につながると考えて行っています。好きだからこそ続けられるんだということを確認出来てよかったです。

なるほどと思ったことは、相手を変えようとするから怒りたくなってしまふそうです。自分を中心に考えると思いのままにならない相手を攻めたくないので、日頃から相手が何をしたいのか、相手を中心に考えて行動するとすると怒ることもなく過ごせるそうです。私もそんな考えに賛成です。とても有意義な講演でした。



フェルトや毛糸を使って年賀状を作りました。元旦に届くのが楽しみです。



マスキングテープを貼ってクリスマスカードを作ったよ。お母さんにプレゼント。



サラダ油に色を付けて固めた飾りを瓶に詰めて、キャンドルを作りました。きれ〜い

- ★1月のにじいろ 6日~: 書初め週間 8日: 凧あげ大会 13日: 健翔会成人式
- 17日: 理科実験「綿あめはどうやってできるの?」 22日: 余暇活動「節分製作」
- 24日: レクリエーション「ピタゴラススイッチ装置づくり第2弾」31日: レクリエーション「穴あきクイズ」
- ★にじいろで欲しいもの 知育玩具 プール タブレット プラレール ぶら下がり健康器
- ★ありがとうございました 須加様: リンゴ 手島様: 本 吉野様: お菓子